2026.7.23

尼崎市総合計画審議会
第１回第１分科会

資料第１号

総合計画審議会・第1回分科会

尼崎市　都市政策課

本日の趣旨

- 後期計画の各論ページ（現行計画のP.46～79）の検討を進めるため、
  現行計画の１３施策と４行政運営を３つの分科会に分けて議論を行います。

- 分科会は２回に分けて開催を予定しております。
  - 第1回の今回は、各施策の「成果と課題」や「めざす状態」といった定性的な内容（見開き左側ページ）
  - 第2回は、「成果指標」の設定（見開き右側ページ）を中心に全体について

  議論を行う予定

- 本日は、庁内で検討した**各論ページのたたき台（左側ページ）をさらにブラッシュアップし、計画策定につなげるため、**本市の所管局職員と総計審委員の皆様とで議論を行います。

これまでの検討経過

- 後期計画の策定に向けた審議会と庁内でのこれまでの検討経過を踏まえて、各論ページのたたき台を作成

令和７年度中 現行計画の点検

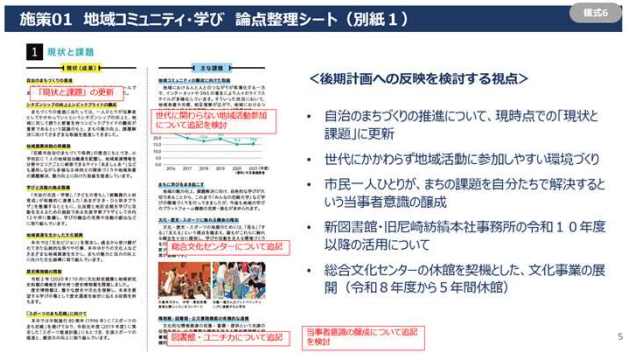

第6次尼崎市総合計画
点検報告書【本編】

令和８年２月

尼崎市

前期計画策定以降の社会の変化など、後期計画に反映すべき論点の整理

点検結果を基に 庁内議論


施策01　地域コミュニティ・学び　論点整理シート（別紙１）

様式6

1 現状と課題

「現状と課題」の更新

世代に関わらない地域活動参加について追記を検討

総合文化センターについて追記

図書館・ユニタカについて追記

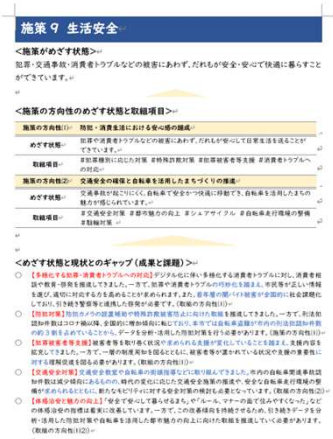
当事者意識の醸成について追記を検討

<後期計画への反映を検討する視点>

- 自治のまちづくりの推進について、現時点での「現状と課題」に更新
- 世代にかかわらず地域活動に参加しやすい環境づくり
- 市民一人ひとりが、まちの課題を自分たちで解決するという当事者意識の醸成
- 新図書館・旧尼崎紡績本社事務所の令和１０年度以降の活用について
- 総合文化センターの休館を契機とした、文化事業の展開（令和８年度から５年間休館）

後期計画に反映すべき論点について、今後の方向性を庁内議論

各論ページの作成 （本日資料）


施策９　生活安全

<施策がめざす状態>

<施策の方向性のめざす状態と取組項目>

<めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）>

これまでの検討経過を踏まえて、各論ページのたたき台を各局にて作成

現行計画の各論ページ

施策

1 地域コミュニティ・学び

1 現状と課題

現状（成果）

自治のまちづくりの推進

平成 28 年（2016 年）10 月にまちづくりのルールである「尼崎市自治のまちづくり条例」を制定しました。

シチズンシップの向上とシビックプライドの醸成

まちづくりの推進に当たっては、一人ひとりが当事者としてかかわっていくというシチズンシップの向上と、地域に対して誇りと愛着を持つシビックプライドの醸成が重要であるという認識のもと、まちの魅力向上、課題解決に向けてさまざまな取組を推進してきました。

地域振興体制の再構築

「尼崎市自治のまちづくり条例」の理念にもとづき、小学校区に 1 人の地域担当職員を配置し、地域資源情報を分野やエリアごとに検索できるサイト「あましぇあ *」なども運用しながら多様な主体同士の関係づくりや地域発意の課題解決、魅力向上に向けた取組を推進しています。

学びと活動の拠点整備

「市民の交流・学習」、「子どもの育ち」、「教職員の人材育成」が有機的に連携した「あまがさき・ひと咲きプラザ」を整備するとともに、公民館と地区会館を学びと活動を支えるための施設である生涯学習プラザとして市内 12 か所に整備し、学びの機会の充実や活動の創出などに取り組んでいます。

地域資源を生かした文化振興

本市では「文化ビジョン」を策定し、過去から受け継がれてきた伝統的な祭りや行事、本市ゆかりの文化人などさまざまな地域資源を生かし、まちの魅力と活力の向上に向けた文化振興に取り組んでいます。

歴史博物館の開館

令和 2 年（2020 年）10 月に文化財収蔵庫と地域研究史料館の機能を併せ持つ歴史博物館を開館しました。

歴史博物館は、豊かな歴史や文化を理解し、未来を展望する学びの場として歴史遺産を後世に伝える役割を持ちます。

「スポーツのまち尼崎」に向けて

本市では市制施行 80 周年（1996 年）に「スポーツのまち尼崎」を掲げており、令和元年度（2019 年度）に策定した「スポーツ推進計画」にもとづき、生涯スポーツの推進と、競技力の向上に取り組んでいます。

主な課題

地域コミュニティの醸成に向けた取組

地域における人と人とのつながりが希薄化する一方で、インターネットや SNS の普及により人々のライフスタイルが多様化しています。そういった状況において、地域発意や共感、相互理解が広がり、地域におけるつながりの大切さを再認識していくことが課題です。



（資料）市民意識調査

まちに学びをまき起こす

地域の魅力向上、課題解決に向け、自発的な学びが大切であることから、これまで「みんなの尼崎大学」など学びの環境づくりを行ってきましたが、今後も地域の学びのプラットフォーム機能の充実・強化が求められます。

文化・歴史・スポーツに触れる機会の増加

文化・歴史・スポーツの発展のためには、「見る」「する」「支える」という視点を踏まえ、誰もがこれらに触れる機会を十分に確保し、学びや活動を支える環境づくりを行い、地域資源としての魅力を創出し、高めていく必要があります。また、施設の維持管理や運営体制の充実が課題です。


大篠美次さん　中学・高校吹奏楽部公開レッスン＆コンサート


白髪一雄さんのフットペインティングに挑戦する小学生

博物館・図書館・公文書館機能の有機的な連携

文化的な情報資源の収集・蓄積・提供という共通の役割を担う、公文書館の機能を有する歴史博物館と図書館はより使いやすく親しみやすい施設となるために有機的な連携が課題です。

施策目標

まちにかかわるすべての人が、ともに学び、考え、お互いの力を出し合う自治のまちづくりを推進することで、まちへの愛着を深め、魅力あふれるまちをめざします

2 施策の展開方向

（1）地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

①多様な主体による地域発意の取組や地域コミュニティを支援する仕組みづくり
②まちのいたる所で展開される学びと活動を支える環境づくり
③地域と学校の連携・協働の推進
④図書を通じた市民の学習活動の支援、交流の機会の提供や図書館を拠点とする図書サービス網の充実

（2）まちの魅力を高める文化芸術活動の推進

①若い人の夢とチャレンジの応援
②はぐくまれてきた歴史・伝統・文化の継承・発展
③市民の芸術体験を支える取組の推進

（3）歴史遺産の継承と学びの充実

①尼崎の歴史に触れ学ぶ機会の拡充と魅力の発信
②歴史遺産を守り、活用しながら継承していく取組の推進
③地域の歴史を学び、活動する市民を支える取組の推進

（4）スポーツに親しむ機会の充実

①ライフステージや体力などに応じた生涯スポーツの推進
②各種スポーツ大会・イベントを通じた競技スポーツの推進

3 施策の進捗状況を測る代表指標

Ⅰ「地域の活動に参加している」と答えた市民の割合
（市民意識調査）

策定時の値	目標値（令和9年度）
15.6 %	30.0 %

Ⅱ「講座などに参加して学んだことを地域や社会のために生かしたい」と考えている参加者の割合
（参加者アンケート）

策定時の値	目標値（令和9年度）
78.1 %	90.0 %

主な関連計画

■分野別マスタープランなど
尼崎市立図書館基本的運営方針
文化ビジョン
スポーツ推進計画

■他施策で関連する主な分野別マスタープラン
【人権尊重・多文化共生】尼崎市人権文化いきづくまちづくり計画、尼崎市国際化基本方針
【学校教育】尼崎市教育振興基本計画
【子ども・子育て支援】尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画
【地域福祉】あまがさき地域福祉計画　【障害者支援】尼崎市障害者計画
【高齢者支援】尼崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
【健康支援】地域いきいき健康プランあまがさき
【消防・防災】尼崎市地域防災計画、尼崎市国民保護計画　【環境保全・創造】尼崎市環境基本計画
【都市機能・住環境】尼崎市都市計画マスタープラン（尼崎市立地適正化計画）、尼崎市住まいと暮らしのための計画

各論ページの構成（見方）

＜左ページ（今回議論）＞
「めざす状態（アウトカム）」「成果と課題」などの定性的な内容

施策の推進によって**めざす状態**を記載
行政の取組ではなく、**市民等にもたらす変化（アウトカム）**を明確に

施策の方向性を記載

「施策の方向性ごとのめざす状態」を新たに設定。

取組項目は、**キーワード**で簡潔に

施策のめざす状態の実現に向けて、前期計画からの**成果と今後の課題**を「施策の方向性ごと」に記載

施策○○ ○○○○・○○○○

＜施策がめざす状態＞

○○（対象）が、○○○○（状態）になっています

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	**○○の推進**
めざす状態	○○(施策の方向性)の取組を進めることにより、(対象)が(どのような状態)になっています。
取組項目	#○○の強化 #○○の促進支援 #○○○○の推進 #○○○○の充実
施策の方向性(2)	**○○○○の促進**
めざす状態	○○(施策の方向性)の取組を進めることにより、(対象)が(どのような状態)になっています。
取組項目	#○○の強化 #○○の促進支援 #○○○○の推進 #○○○○の充実
施策の方向性(3)	**○○の充実**
めざす状態	○○(施策の方向性)の取組を進めることにより、(対象)が(どのような状態)になっています。
取組項目	#○○の強化 #○○の促進支援 #○○○○の推進 #○○○○の充実
施策の方向性(4)	**○○○○の向上**
めざす状態	○○(施策の方向性)の取組を進めることにより、(対象)が(どのような状態)になっています。
取組項目	#○○○○の推進

＜めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）＞

○ ○○を推進してきました。一方で○○に引き続き取り組む必要があります。(施策の方向性(1))
○ ○○を推進してきました。一方で○○に引き続き取り組む必要があります。(施策の方向性(1))
○ ○○を推進してきました。一方で○○に引き続き取り組む必要があります。(施策の方向性(2))
○ ○○を推進してきました。一方で○○に引き続き取り組む必要があります。(施策の方向性(3))

＜右ページ（今後検討）＞
「アウトカム指標」などの定量的な内容

＜主な関連計画＞■分野別マスタープランなど
尼崎市○○方針／○○ビジョン／○○推進計画

＜まちづくりの総合指標＞

ファミリー　市民参画　住んで良かった

＜施策の代表指標＞

仮）○○○○しやすいまちだと思いますか

基準値（R8）○○%

左ページの**「施策がめざす状態（アウトカム）」を測る指標**を設定する予定

＜施策の方向性ごとの成果指標＞

施策の方向性(1)	**○○の醸成・○○の推進**
成果指標	○○の割合
基準値（R8）	○○%
施策の方向性(2)	**○○の醸成・○○の推進**
成果指標	○○の割合
基準値（R8）	○○%
施策の方向性(3)	**○○の醸成・○○の推進**
成果指標	○○の割合
基準値（R8）	○○%
施策の方向性(4)	**○○の醸成・○○の推進**
成果指標	○○の割合

左ページの**「施策の方向性のめざす状態（アウトカム）」を測る指標**を設定する予定

全体として、「取組項目」→「施策の方向性ごとのアウトカムと成果指標」→「施策のアウトカムと施策の代表指標」の事務事業から上位指標までのつながりを意識できる構成とする

＜施策がめざす状態＞
＜施策の方向性のめざす状態＞の記載ルール

施策９　生活安全

＜施策がめざす状態＞

犯罪・交通事故・消費者トラブルなどの被害にあわず、だれもが安全・安心で快適に暮らすことができています。

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	**防犯・消費生活における安心感の醸成**
めざす状態	犯罪や消費者トラブルなどの被害にあわず、だれもが安心して日常生活を送ることができています。
取組項目	#犯罪種別に応じた対策　#特殊詐欺対策　#犯罪被害者等支援　#消費者トラブルへの対応
施策の方向性(2)	**交通安全の確保と自転車を活用したまちづくりの推進**
めざす状態	交通事故が起こりにくく、自転車で安全かつ快適に移動でき、自転車を活用したまちの魅力が感じられています。
取組項目	#交通安全対策　#都市魅力の向上　#シェアサイクル　#自転車走行環境の整備　#駐輪対策

今後のアウトカム指標の設定を見据え、
行政の取組ではなく、市民等にもたらす変化（アウトカム）が明確になるような表現に修正

◎主語は原則「市民・事業者・地域など」

◎行政の取組は可能な限り簡素化し、市民にアウトカム（成果）が伝わりやすい表現に調整

◎文末は「～なっています」「～ができています」など
（「〇〇なまちをめざします」といった測定困難なものではなく、指標設定を意識した記載に）

タイムテーブル（第１分科会）

分科会	開催日時	施策	時間（目安）	所要時間（目安）
第１分科会	７月23日（木） 18：30～20：30	開会・全体説明	18：30～18：40	10
		施策01　地域コミュニティ・学び	18：40～19：00	20
		施策02　人権尊重・多文化共生	19：00～19：20	20
		施策03　学校教育	19：20～19：40	20
		施策04　子ども・子育て支援	19：40～20：00	20
		行政運営１　【協働】	20：00～20：20	20

- １施策２０分を目安とし、意見等が無くなり次第、次の施策へ移ります。
- 各パートごとに主担当局・関係局の職員の入れ替えを行います。
- 各パートの冒頭で、事務局より記載内容の概要をご説明しますので、その後意見交換の視点（次ページ）を参考にコメントやご意見をお願いします。

意見交換の視点（例示）

＜施策がめざす状態＞・＜施策の方向性が目指す状態＞

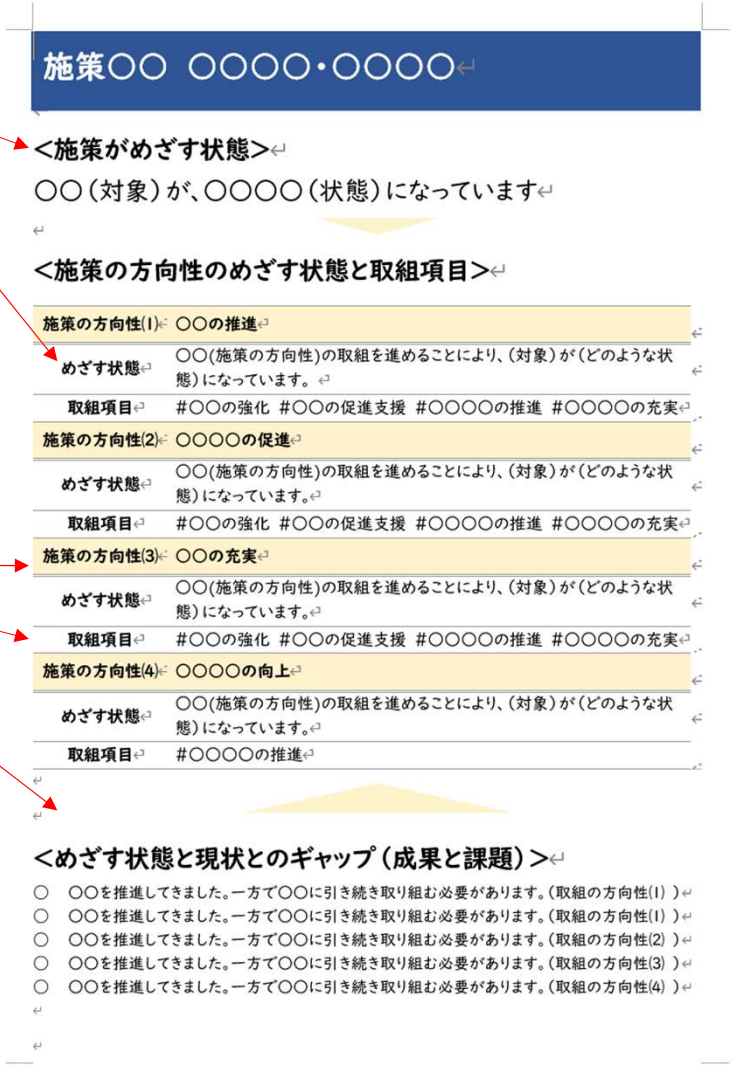
- 施策の推進にあたって、「めざす状態」が適切かどうか。
- 「取組項目（活動）」→「施策の方向性のめざす状態」→「施策全体のめざす状態」という流れが、論理的に無理なくつながっているか
- 市民から見てわかりやすい表現になっているか。

＜施策の方向性＞・＜取組項目＞・＜成果と課題＞

- 修正すべき表現や、抜け漏れ、盛り込むべき点がないか
- 近年の社会情勢の変化を踏まえた内容となっているか
- 課題を解決するための方向性や取組項目は適切か

上記に限らず、専門分野の知見や、市内での活動や生活する中での実感を踏まえて、

記載内容への質問や感想、ご意見をいただければ幸いです。



施策〇〇 〇〇〇〇・〇〇〇〇

＜施策がめざす状態＞

〇〇（対象）が、〇〇〇〇（状態）になっています

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	〇〇の推進
めざす状態	〇〇(施策の方向性)の取組を進めることにより、(対象)が(どのような状態)になっています。
取組項目	#〇〇の強化 #〇〇の促進支援 #〇〇〇〇の推進 #〇〇〇〇の充実
施策の方向性(2)	〇〇〇〇の促進
めざす状態	〇〇(施策の方向性)の取組を進めることにより、(対象)が(どのような状態)になっています。
取組項目	#〇〇の強化 #〇〇の促進支援 #〇〇〇〇の推進 #〇〇〇〇の充実
施策の方向性(3)	〇〇の充実
めざす状態	〇〇(施策の方向性)の取組を進めることにより、(対象)が(どのような状態)になっています。
取組項目	#〇〇の強化 #〇〇の促進支援 #〇〇〇〇の推進 #〇〇〇〇の充実
施策の方向性(4)	〇〇〇〇の向上
めざす状態	〇〇(施策の方向性)の取組を進めることにより、(対象)が(どのような状態)になっています。
取組項目	#〇〇〇〇の推進

＜めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）＞

〇 〇〇を推進してきました。一方で〇〇に引き続き取り組む必要があります。(取組の方向性(1))
〇 〇〇を推進してきました。一方で〇〇に引き続き取り組む必要があります。(取組の方向性(1))
〇 〇〇を推進してきました。一方で〇〇に引き続き取り組む必要があります。(取組の方向性(2))
〇 〇〇を推進してきました。一方で〇〇に引き続き取り組む必要があります。(取組の方向性(3))
〇 〇〇を推進してきました。一方で〇〇に引き続き取り組む必要があります。(取組の方向性(4))